



文部科学省マイスター・ハイスクール普及促進事業「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」(R6～7年度)の取組や、専門高校と産業界との持続可能な連携に資する情報、さらには各高校で取り組んでいる好事例について情報提供します。



## 『拠点校ミーティング』を開催しました

令和7年4月28日(月)、拠点校(小樽水産高校、室蘭工業高校、旭川商業高校、更別農業高校)の代表者が、今年度の取組の概要等について理解を深めるとともに、専門高校と産業界等との連携を推進する上での共通認識を図ることを目的として開催しました。4圏域(道央、道南、道北、道東)の拠点校から、教頭及び担当教諭が参加し、今年度の事業内容の説明や、各拠点校における産学連携に係る取組の紹介のほか、各圏域ごとに開催する「産学連携シンポジウム」の実施に向けた打合せなどを行いました。

### ○説明①「令和7年度の事業計画及び拠点校の役割について」

<主な説明内容>

- 本事業の目的は、専門高校と産業界をつなぎ、産学連携を強化するとともに、専門高校の価値や魅力を広く発信し、魅力ある北海道を創る人材を育成すること
- 道内の4圏域に配置した拠点校の役割として、専門高校の教員、産業界関係者が産学連携の意義や方法等について理解を深める産学連携シンポジウムや、ONE-TEAMフォーラムなどのイベントの開催における協力、好事例や本事業における成果の発信があること など



事業概要についての説明を聞く参加者の様子

### ○説明②「産学連携シンポジウムの基本構想について」

<主な説明内容>

- 昨年度、札幌市内で開催した産学連携シンポジウム・産学連携カンファレンスでは、産業界と学校、他学科との交流の重要性等について確認できたこと(成果等については、令和6年度 ONE-TEAM ニュース第3号、第6号を参照)
- 今年度、開催する産学連携シンポジウムでは、学校・企業による好事例の発表やパネルディスカッションのほか、学科の垣根を越えた協議の場を設定する予定であること など

### ○発表・協議「各拠点校における産学が連携した特徴的な取組・産学連携の推進に向けて」

産学連携コーディネーターの進行によって、各拠点校から産学連携に係る自校の取組や、学校・学科の垣根を越えた連携事例について発表がありました。

また、産学連携における課題点や、連携を推進する上でのポイントとして、担当教諭と企業の連携となっており、**学校として持続可能な連携の形を構築することや、産業界と学校が互いに Win-Win の関係を構築することの重要性**などを、拠点校4校で共有しました。

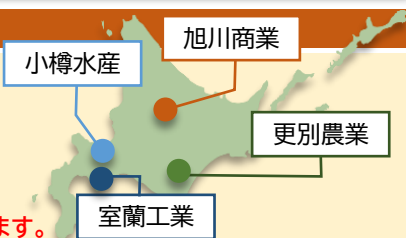
各校の取組の詳細については、下段「**各拠点校の産学連携の事例を紹介します**」を御覧ください。

### ○打合せ「産学連携シンポジウムの運営について」

説明②「産学連携シンポジウムの基本構想について」を基に、道内4圏域で実施する本シンポジウムの会場や、事例発表・パネルディスカッションの内容等について、各拠点校の担当者と、担当する指導主事で打合せを行いました。

4つの圏域それぞれの地域の実態を踏まえ、持続可能な産学連携の推進に資するシンポジウムとするために、活発な話し合いが行われました。

※今年度の産学連携シンポジウムについては、内容等の詳細が決まり次第、各校へ案内します。



## 各拠点校の特徴的な産学連携の事例を紹介します

拠点校ミーティングにおいて、各拠点校から産学が連携した特徴的な取組について発表がありました。内容について紹介しますので、各学校の今後の産学連携の推進に役立ててください。

### 1 小樽水産高校

- 水産食品科の取組事例
  - ・ 企業と連携した商品開発(缶詰商品を開発し全道へ販売)
  - ・ 魚介の出汁を使用したラーメンに関する出前授業
- 栽培漁業科の取組事例
  - ・ スクーバ潜水と水中ドローンを活用したコンブ類等の繁茂状況の調査
  - ・ ウニ類が忌避する合成ゴム開発に関わる企業との共同研究
- 海洋漁業科の取組事例
  - ・ 漁獲したマグロ(元気マグロ)の販売実習
  - ・ 漁業ガイダンスや船舶自動化などに関する各種セミナーへの参加
- 情報通信科の取組事例
  - ・ 大学等と連携したVR・メタバースを活用した情報通信技術に係る学習



マグロ販売会の様子

## 2 室蘭工業高校

### ○ M-Con※ (Muroran Technical Consortium) の取組事例

- ・地元建設業協会と学校が連携し、企業実習・インターンシップを実施
- ・北海道庁、北海道企業局による洋上風力発電等の施設見学・出前授業
- ・専門学校と連携し、生成 AI や BIM・自動車に関する実習や体験、講義
- ・大学教授による鋳造実習に係る指導
- ・外部講師によるエアコン用電源増設工事に係る実習
- ・関係企業を講師に招いた就労観養成講座の実施



※ M-Con とは？

- ・室蘭市建設業協会、登別建設協会、伊達市建設協会と、企業実習に関する連携協定を締結（R6.2月）
- ・育成する人材像の共有、企業実習プログラムの共同開発



外部講師の指導によるエアコン用電源増設工事実習の様子

## 3 旭川商業高校

### ○ 「ProjectA」の取組

- ・旭川農業高校と旭川商業高校が、ノーステック財団や旭川産業創造プラザ、旭川市立大学の指導・協力のもと、旭川活性化の取組を実施
- ・両校の強みを生かし、中華まん（商品名「あったか旭川まん」）を開発、販売

### ○ 地域を担う人材育成に向けた産学連携の取組事例

- ・地元就職した卒業生による、在校生向け進路座談会の実施
- ・ハローワーク主催の多業種企業による就職説明会の実施
- ・地域に開かれた教育課程を推進するため、旭川市立大学教授のほか地元の企業・関連団体役員に学校評議員を委嘱
- ・地元企業と協力・連携した実習販売会の実施 など



「あったか旭川まん」販売実習の様子

## 4 更別農業高校

### ○ 地元企業・関係機関と連携した取組事例

- ・食品加工会社と連携した商品開発
- ・地元建設業者・農業機械メーカーの支援による、学校園場における「ひまわり迷路」の製作
- ・帯広信用金庫主催の、「地元高校生による十勝の未来づくり応援プロジェクト」（令和6年度で終了）への参加
- ・帯広畜産大学と連携した小麦の品種開発についての研究

### ○ 学校間連携や、学科の垣根を越えて連携した取組

- ・旭川工業高校定時制と連携した、産業用ドローンの活用における交流学习と、地元食材を活用した試食会の実施
- ・帯広農業高校と連携した飼料作物の栽培についての研究



旭川工業高校定時制と連携して実施した試食会の準備の様子

### <月館 海斗 産学連携コーディネーターよりコメント>

- 4校とも大変参考になる取組であり、**各学校の取組のよい点を組み合わせることで、産学連携の課題**である「学校と産業界が組織的なつながりになっていないこと」や、「連携において資金面の負担があること」、「企業にとって人材確保がメインになっていること」などの**解決につながるのではないかな。**

- 外部との連携においては、**産業界はもとより、自治体や大学等との連携も大切**であり、拠点校における好事例を、今後、**圏域内の学校や産業界等にどう波及させていくか**が重要である。



つきだて かいと  
月館 海斗 氏

主な経歴等

- ・株式会社すみか代表取締役（立命館慶祥中学校・高等学校教員を経て、会社設立）
- ・厚岸翔洋高校マイスター・ハイスクール（R4～R6）事業伴走者
- ・札幌市教育委員会「市立高校コンシェルジュ」任命
- ・その他教育現場での教育支援プログラムを実施



## 「産業実務家教員リスト」の活用について

本リストは、生徒に対して、高度な知識・技術や実践的・体験的な学習機会を提供することを目的に作成しました。

令和7年3月27日付け教高第3481号で各校へ送付したところですが、専門高校との連携が可能な、各産業に従事する職業人又は事業所を掲載しており、掲載されている講師は、**派遣に係る交通費や謝礼などの支払いは原則ありません。**

ただし、連携内容によっては、材料費など実費がかかる場合がありますので、**詳細については、連携を希望する学校が産業実務家教員と直接連絡を取り確認**してください。



学校や地域の実態に合わせて、是非活用いただき、各学校における地域産業の人材育成に向け、産業実務家教員と意見を交わしながら、よりよい連携が行われることを期待しています。

「北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト」



## 産業実務家教員リスト



北海道教育庁学校教育局高校教育課

【令和7年3月27日作成】

産業実務家教員リスト【表紙】